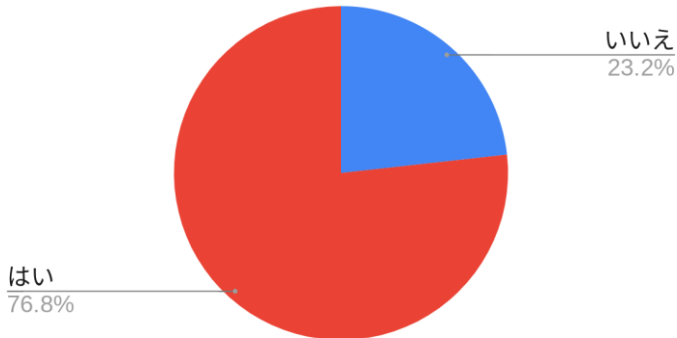


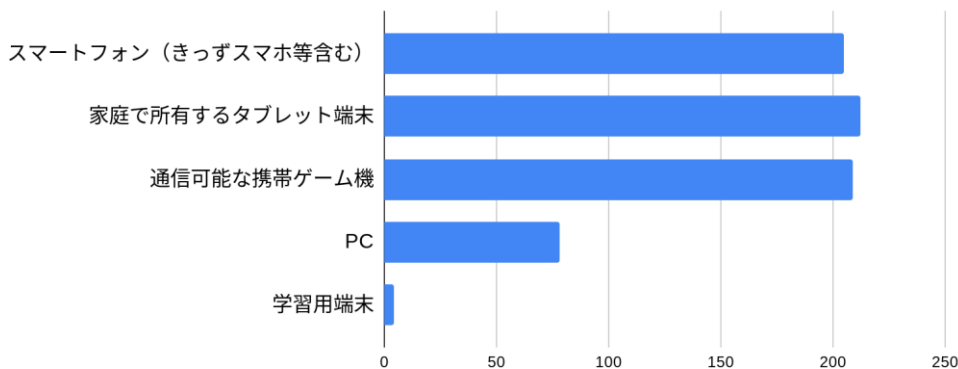
「情報機器に関する保護者アンケート」まとめ

お子さんは、学校貸与のタブレット端末以外に、何らかの情報機器（スマホ、PCなど）を使っていますか。



各学年のデータにばらつきはあまりなく、各学年70%くらいの児童が学校貸与のタブレット以外の情報機器を持っています。

(1) お子さんは、どのような情報機器を使っていますか。あてはまるものすべてにチェックをしてください。



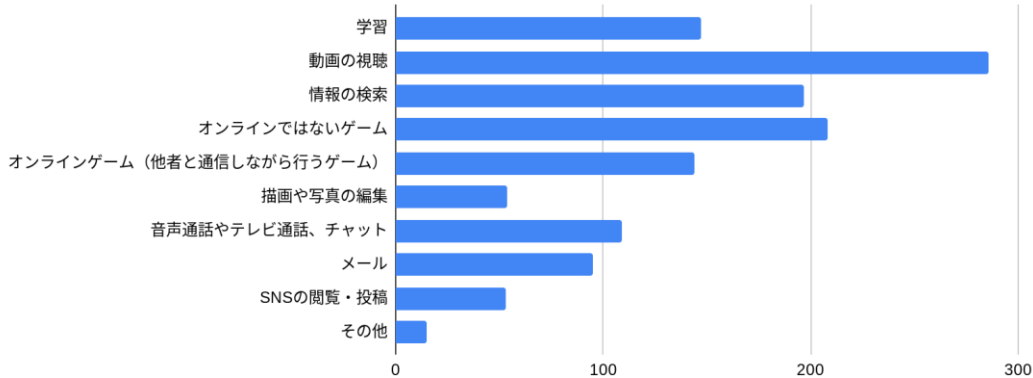
学年が上がるにつれてスマートフォンを持つ児童の数が増えています。低学年は家庭で所有するタブレット端末を使わせている割合が高いです。

(2) お子さんは、それらの情報機器を平均して一日にどのくらいの時間使っていますか。



1時間以上情報機器を使っている児童の割合は、低学年は低く、高学年は高くなっています。

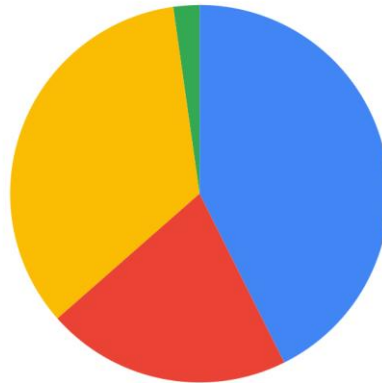
(3) お子さんは、それらの情報機器をどのような用途に使っていますか。あてはまるものすべてにチェックをしてください。



どの学年も動画の視聴が1位です。高学年になるにつれて、情報の検索や SNS といった用途の割合が高まり、活用の幅が広がっています。

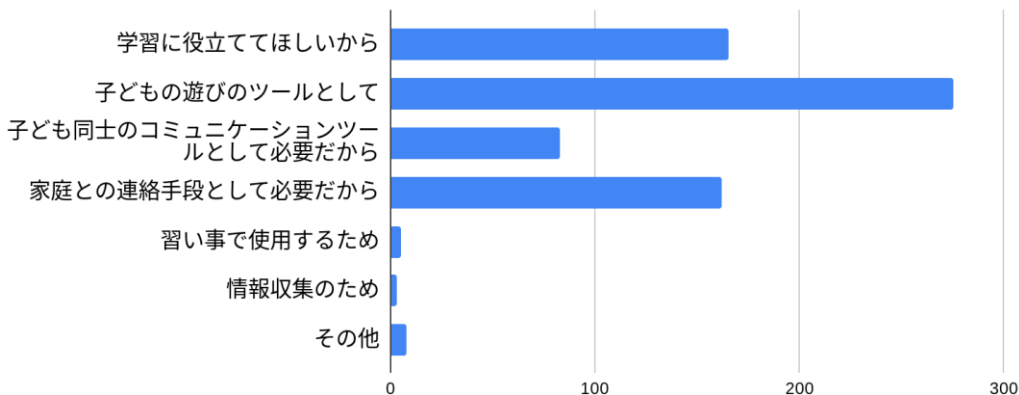
(4) お子さんは、それらの情報機器をどのような状況で使っていますか。最もよくあてはまるものを選んでください。

- 必ずしも保護者と一緒に使うわけではないが、保護者がそばにいてすぐに使用状況を確認できるときのみ使う
- 一人で使う (保護者の監督下でない状況)
- 必ずしも保護者がそばにいるわけではないが、使用後に保護者が使用状況を確認するようにしている
- 保護者と一緒に使う



必ずしも保護者がそばにいるわけではない状態や、一人で情報機器を使う割合が、高学年になるにつれて高くなります (4年生は低い)。

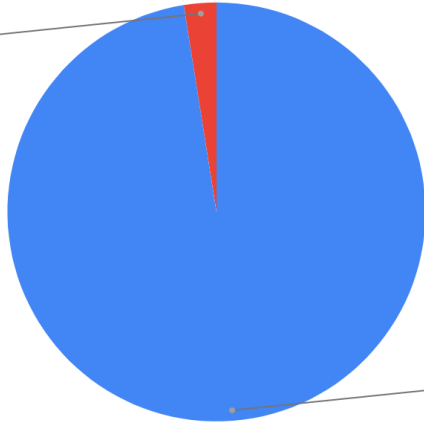
(5) お子さんに、情報機器を使わせている理由は何ですか。あてはまるものすべてにチェックをしてください。



子どもの遊びのツールとして使わせているという割合が各学年とも多く、「家庭での連絡手段」「子ども同士のコミュニケーション手段」として用いる割合が高学年になるほど高まります。

情報機器を利用する上で、お子さんに何らかの指導をしたり、お子さんと約束を決めたりしていますか。

いいえ
2.5%

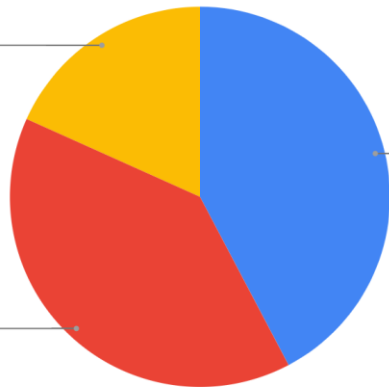


はい
97.5%

ほとんどの家庭で、情報機器を使わせる際に何らかの指導や約束をしているようです。2年生・3年生は100%でした。

(1) 情報機器の使用に関する指導や約束の取り決めは、どのくらいの頻度でしていますか。

たまにしている
18.3%

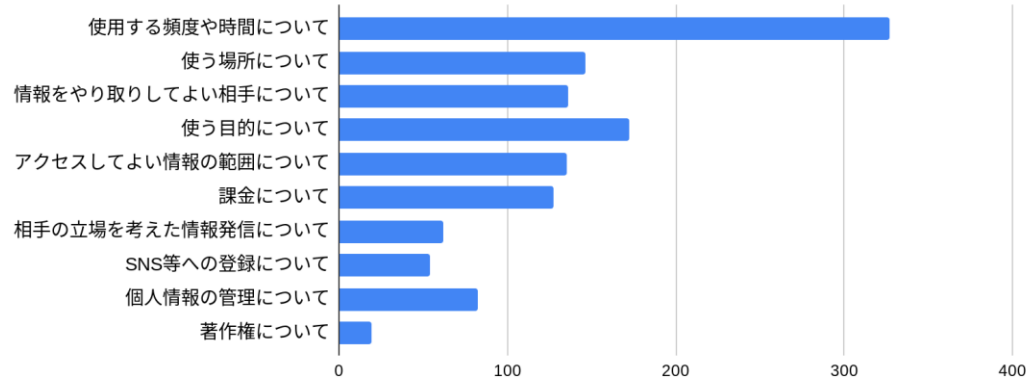


頻繁にしている
42.3%

時々している
39.4%

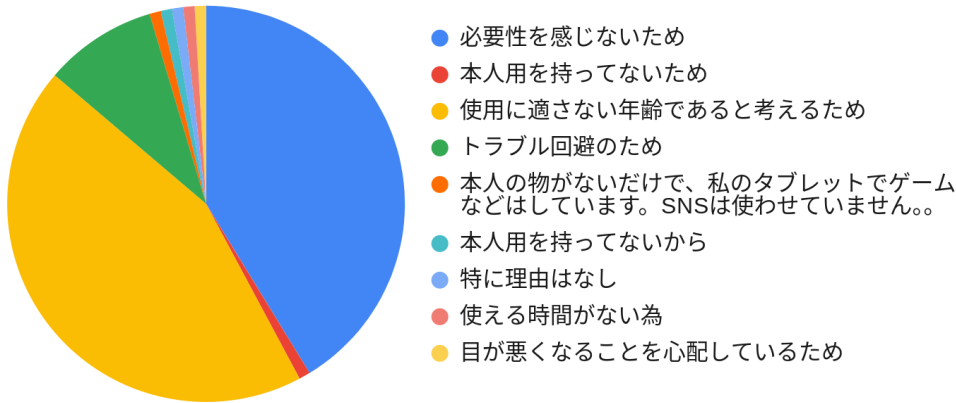
情報機器の使用に関する指導や約束は、低学年ほど頻繁に行っており、高学年になるにつれて「たまにしている」の割合が高くなります。

(2) それは、どのようなことに関する指導や約束ですか。あてはまるものすべてにチェックをしてください。



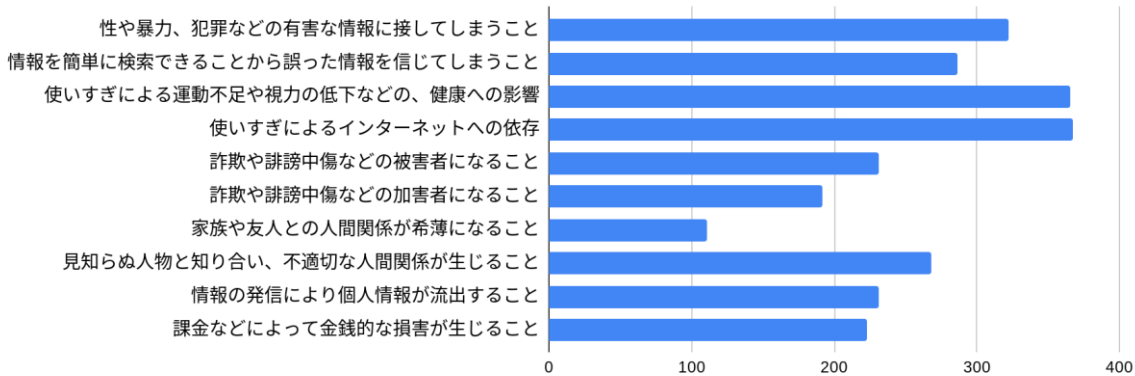
各学年とも「使用する頻度や時間」に関する約束を決めている家庭が多いです。高学年になると「情報をやり取りしてよい相手」に関する指導や約束を決めている家庭が増えてきます。

お子さんに情報機器を使わせない理由は何ですか。最もよくあてはまるあてはまるものを選んでください。



低学年では「使用に適さない年齢であるため」という理由が多く、高学年では「必要性を感じないため」という理由が多いです。

(1) お子さんが情報機器を使用するにあたり、心配していることは何ですか。あてはまるものをすべてにチェックをしてください。



学年による違いはあまりありませんでした。情報機器の活用に関する心配事としては「使いすぎ」を挙げている保護者が多いです。

